

市長のH27年度施政方針に対する質疑

Q 交通弱者のために市内公共交通網の見直しについて、具体的な構想は

A 本市の中心を通るJR常磐線神立駅は、1日当たり6,000人と利用者の多い駅があります。そこへ向かう交通網ができていないことが、本市の交通弱者に影響していると思われます。通勤・通学を含め、交通弱者の足として交通網を整備していくためには、バス路線網の検討が必要であり、デマンド型乗り合いタクシーとのバランスをとりながら、持続可能な交通体系を整備していくことが本市に適した交通弱者対策と考えております。

Q 千代田地区の小学校の統廃合の進め方について

A 志筑・新治・七会・上佐谷統合小学校については、新校の位置をめぐり意見の集約ができないために、現在も統合委員会は休止状態になっております。今後につきましては、保護者や地域の意見を伺いながら進めるとともに、専門家の意見を取り入れながら、小中一貫教育のあり方も含めまして総合的に検討していきます。

Q ごみ減量化、分別によるリサイクル化の推進について

A 循環型地域社会を目指す上におきまして、さらなるごみの減量化への取り組みが必要です。燃えるゴミの中には、資源となるものが多く含まれていることから、雑誌等の資源化・家庭から出る生ごみの水切り・コンポストや生ごみ処理機による堆肥化・買い物等でのマイバックの推奨・廃棄物の減量化や資源化と有効利用、廃棄物行政の効率化を推進し、周知啓発をしてまいります。

Q 6次産業による総合戦略について

A 6次産業とは、農業や水産業の第一次産業が食品加工や流通販売にも業務発展していくものであります。高品質かつ安全性の高い農産物加工品を地域ブランドとして確立をさせ、販路を拡大していく手法の一つとして6次産業に取り組んでいきたいと考えます。

これにより新たな産業の創出を促し、雇用機会の拡大や農水産業の経済的安定を実現することで、魅力ある農水産業を創造してまいります。

Q 広報活動の改善で新しい取り組みとは。また、具体的な広聴活動の充実への取り組みがあれば伺いたい。

A 災害時等にも容易に情報発信ができるソーシャルネットワークサービスとの連携をすることにより、複数メディアで画像や動画を配信できるようにし、ホームページも大幅な機能向上を図る予定です。これにより、本市の魅力を最大限に国内外に発信していきます。

また、携帯電話やスマートフォンを活用したツイッター等あらゆる手法に取り組みながら、より広く情報発信をする環境づくりに努めます。

広聴活動はこれまでも実施しておりますが、市民提案や市民懇談会、区長懇談会等のさらなる充実を図るとともに、あらゆる機会を利用し、より多くの市民の皆様と接し、さまざまなご意見を拝聴しながら、市政運営に努めます。